

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日	2021年3月31日	事業所名	児童デイサービス東ヶ丘
-----	------------	------	-------------

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○			指導訓練運動スペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	○			人員配置基準にそって配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている			○		玄関に段差があるが、現在 該当児童はいない。該当児童はの利用検討案件発生時、必要箇所のバリアフリー化を施工する。
業務 改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			月2回のクラス会議やその他の時間内で、支援方法の統一措合せをし、その支援結果・改善策を共有している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			アンケートの調査結果を真摯に受け止め全職員で周知し、業務改善に取り組んでいる。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			公表している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている			○		第三者による外部評価を立ち上げていない。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○			研修は委員会が主導し、随時実施している。研修後は必ず報告書を提出している。	
適切 な 支 援 の 提 供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			保護者のニーズ、子供の状況や環境等を踏まえ、将来目標を見据えて目標を立て支援計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			今年度は、新しく導入された児童評価シートは、個後の能力に合わせた評価シートになっていて、状況を把握しやすくなっている。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			各職員の得意分野や意見を取り入れ、支援計画目標達成に向け、楽しく活動できるよう努めている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○			季節行事を取り入れたり、自立する力を身につける為、調理、ボランティア清掃等にも取り組んでいる。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○			今年度よりビジョントレーニングを取り入れ楽しみながら取り組んでいる。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○			個別活動と集団活動を組み合わせ、より良い支援において児童が成長出来るように配慮し計画している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○			当日の活動内容、スケジュール、担当児童等を見える化し、職員間で支援内容の共有や確認を行っている。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○			当日の支援の振り返りを行い、気づいた点や反省点を話し合い、全員による共有化を行っている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○			送迎後、個別ノートや週案に記載し全員で話し合い課題や問題点をあぶり出している。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○			モニタリングは定期的に行っている。担当職員と他の職員とで話し合い、サービス計画の見直しの必要性を判断している	
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせで支援を行っている	○			基本活動の他、自社で取り組むプログラムと組み合わせている。		

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標	
関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			児童発達支援管理責任者、管理者、保育士、専門スタッフが参画している。	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	○			日々、相互の情報を交換し、共有に努め、連絡調整を適切に行っている。特に送迎時のトラブルがないように心がけている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	○			事前に緊急時の処置や連絡体制を確認し、会議を行った上で支援を開始している。	
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	○			それぞれの関係機関との間で連携して保護者のニーズや課題を話を合う機会を設けて、情報共有と相互理解に努めている。	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			それまでの資料や必要な記録などの情報提供を行っている。	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			必要に応じて児童発達支援センターの専門職員に助言をしていただいている。	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある			○		法人内の事業所との交流活動はある。今後、機会を見つけてそのような交流や活動を計画する。
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している			○		定例会議等の実施状況を確認し、今後参加する。今年度は、コロナ禍の為、外部との接触は自粛している。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			日々の状況を連絡帳で伝えている。また、気になる事や様子などを送迎時や電話などで直接話し、より深い共通理解を持てるようにしている。	
29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○			日頃から発達や成長の気づきを伝えあい、共に喜びを共感できるようにしている。保護者の相談には適宜対応し、支援に努めている。		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○			重要事項説明書で説明、同意をいただいている。変更があれば、その都度説明し、同意をいただいている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			相談に応じ、解決できるよう助言や支援ができるよう支援ネットワークを持ち、紹介、アドバイスをするようにしている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○			自社主催の行事、イベント等に保護者の参加を呼びかけ、保護者間の連携や交流を支援している。	現在のところ、父母の会活動や保護者会などは実施していない。また、行事、イベント等はコロナ禍の為、今年度は中止となる。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○			苦情受付窓口・解決担当者を置き、苦情に迅速かつ適切に対応している。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○			保護者には次月の活動予定表を作成し、毎月配布している。	今年度は、定期的な会報を出せていない。R3年度は発信していきたい。
	35	個人情報に十分注意している	○			写真等の取り扱いにも十分注意している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○			イラスト等を使ったり、簡潔で分かり易い文章にするように努めています。	
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	○			例年では、春祭り、秋祭りに地域住民の皆様を招待しご理解を深めてもらえるよう努めている。	今年はコロナ禍の為、全ての行事、イベントが中止となる。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の 対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○			各マニュアルを策定し、職員は研修し、周知している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○			年2回の避難救護訓練を実施している。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○			虐待防止に向けての取り組み研修を実施し、日々職員間でその確認を行うようにしている。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○			危険回避行動と虐待との違いを明確にし、保護者や子どもに説明、了解を得たうえで支援計画に明記し、適切に対応できるよう検討している。現在、該当児童なし。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			アセスメントの際に食物アレルギーの確認を行い、食材選びに配慮している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○			ヒヤリハット、事故、トラブルなどの状況を記録し、振り返りを行っている。再発防止に向けて取り組んでいる。	